



ち  
や  
け  
ち

## 摂南大学広報誌

### 特集

- 2020年4月「農学部」設置を構想中…………… P.03
- クラブ活動紹介！ …………… P.04
- 2017年度入学宣誓式 …………… P.06
- ホームカミングデイ in 京セラドーム大阪 …… P.18

2017 SEP  
No.7

# 『NEXT STAGEを目指した発展』

## 学長挨拶



学長 八木 紀一郎  
Yagi Kiichiro

今井前学長の時に、本学は大学のタグラインに Smart and Human という標語を採用しました。それは、知性と人間性を備えた人格を育成し、困難な課題に直面している現代社会に貢献するという決意を示します。人類の蓄積してきた科学の上に立つ総合大学にふさわしい使命です。

それをより広範に、また、より深く実現するために、大学のカバーする領域の幅を拡げ、理系、文系のそれぞれ1学部を増設したいと考えています。大学創立50年にあたる2025年に2つの学部を完成させ、収容定員1万人規模のより存在感のある大学を目指します。つまり、摂南大学のNEXT STAGEです。

その第一歩として、2020年春、枚方キャンパスに農学部を開設する準備に入りました。農といっても広い意味で、また新しい意味でイメージしていただけだと思います。現代社会での農業は、食料を生産するだけでなく、地域における自然環境を保全し、都市生活に安らぎを与える分野です。生きた自然から資源を得る第1次産業だけでなく、さまざまな製品に加工する第2次産業、そして流通とサービスによって人々の生活を支える第3次産業を含みます。それを足し合わせて6次産業とよばれることもあります。

この農業関連の活動分野は、それぞれの分野ごとに全世界に拡がっています。農産物の輸出入はワールドワイドで、どの国もその基礎になる最新の科学的研究

に力を注いでいます。他方、多様な食文化が世界に広まったことで、私たちの人生がどれほど「美味しい」「豊かな」ものになったかは言うまでもありません。

世界における農産物と関連知識・文化の流通は人類の福祉を支え、農業生産、食品関連の加工業・流通業、そして食文化とともに育つ飲食業のビジネスと結び付きます。構想中の農学部ではこれらの全てが学べるようにするとともに、新しい可能性、新しいスタイルを持った農学部を目指します。

新学部創設に向けた事業では、既存学部の学生もそれから学べるがたくさんあります。理工・外国語・経営・薬・法・経済看護のそれぞれの学部が農学部とコラボレーションしていくことで、新しい夢が拡がっていきます。また、来年度には寝屋川キャンパスの整備計画も動き出します。そして新しい社会を生み出すための新しい文系学部も実現させていきたいと考えています。

Smart and Humanを実現し、摂南大学のNEXT STAGEへの飛躍に向けて、今後ともご協力とご参加をいただけるようお願いいたします。



Setsunan University

index

大学学歌や四季に応じた美しいメロディを奏で、優しく学生たちを包み込むカリヨンベル。学生一人ひとりの個性を表現したベルを支える3本のシンボルツリーは、天に伸びゆく学生の姿をそれぞれイメージしています。

カリヨンベル(寝屋川キャンパス)

02	学長挨拶	03	「農学部設置を構想中」 クラブ活動紹介!	04	2017年度入学宣誓式	06	摂南大学の特色ある取り組み 交流事業/環境保全 学生生活	07 08	学部 Topics 法学部・外国語学部 経済学部・経営学部 理工学部 薬学部・看護学部	10 11 12 13	情報教育支援・研究支援 入試インフォメーション 後援会	14 15 16	ホームカミングデー in 京セラドーム大阪	18
----	------	----	-------------------------	----	-------------	----	------------------------------------	-------	---	-------------	-----------------------------------	----------	--------------------------	----

# 2020年4月 枚方キャンパスに「農学部」設置を構想中

2025年に開学50周年の節目を迎える本学は、  
関西の総合大学として確固たる地位を確立するという将来構想に基づき、教育改革やキャンパス整備計画に  
取り組んでいるところです。このたび改革の大きな柱である新学部「農学部」を2020年4月、  
枚方キャンパスに設置する構想がまとまりました。

## 農学部の概要 (設置構想中 / 2017年9月現在)

農学部は農作物の生産、食品加工、食育、食農ビジネスの基礎および学科ごとの専門分野について学修します。さらに、地域  
社会と連携し、生活の質向上や健康社会の実現への展開を含めた学修も積極的に取り入れます。

構想中の設置学科名や学修内容などは次表のとおりです。  
現在、地域や企業、医療機関との連携を図りながら設置計画  
の詳細をまとめており、設置予定地の枚方キャンパスに  
おいて、既存の薬学部、看護学部とともに、ライフサイエンス  
の教育・研究ゾーンを構築する計画です。



枚方キャンパス

## 設置学科名 / 学修内容 / 入学定員

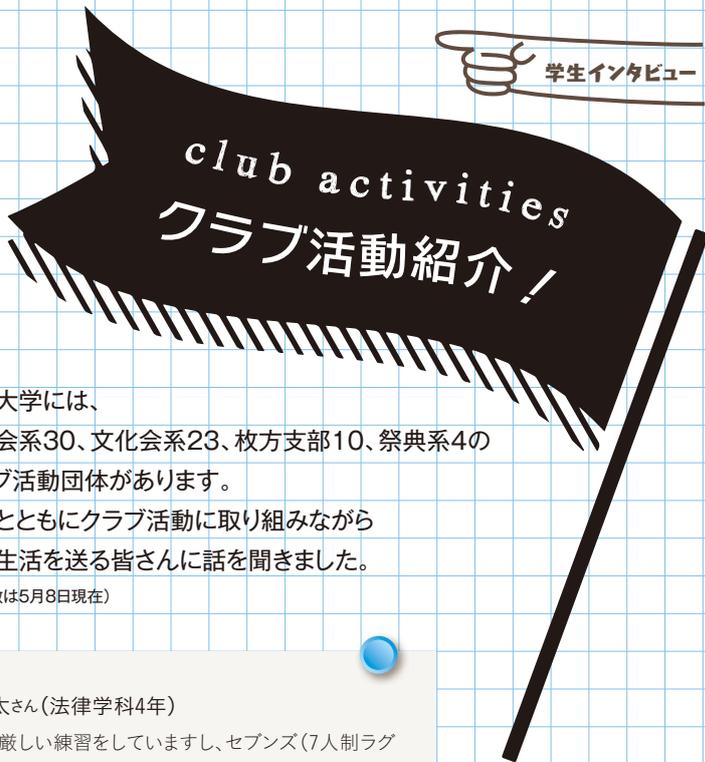
学科名	農業生産学科	応用生物科学科	食品栄養学科 (管理栄養士養成課程)	食農ビジネス学科
学修内容	農作物の生産とその問題点の 解決策、ならびに省力、高収量、 高品質生産を可能にする新たな 農業・先端的農業を学修 	植物や微生物に関する基礎 的知識をはじめとして、発酵、 遺伝子操作、情報処理などの 先端的な知識・技術を学修 	地域社会の健康、医療、食育など に貢献できる「農」の幅広い知識 を持った管理栄養士を目指し、 臨床栄養、栄養教育、給食管理、 公衆栄養などを学修 	農産物および食品の生産・流通・ 消費などについて、国内のみなら ずグローバルな視点に立って、 経済や経営、マーケティングなど の面から学修 
入学定員	80人	80人	80人	90人

(注)2019年3月設置認可申請予定。上表は予定であり変更になる場合があります。

## 大阪府下で唯一の 私大「農学部」



関西地区の主要私立大学で農学部を設置するの  
は、近畿大、龍谷大に次いで3番目。大阪府下では  
唯一の農学部となります。大阪で新しい農学を学  
びたいというニーズに応えていきます。



大学選手権出場を  
目指し、  
今季リーグスタート!



**ラグビー部  
(関西大学ラグビーAリーグ)**

【部員数…123人(男子118・女子5)】

摂南大学には、  
体育会系30、文化会系23、枚方支部10、祭典系4の  
クラブ活動団体があります。

仲間とともにクラブ活動に取り組みながら  
大学生活を送る皆さんに話を聞きました。

(部員数は5月8日現在)

キャプテン 浅田 龍太さん(法律学科4年)

今年は例年以上に厳しい練習をしていますし、セブンス(7人制ラグビー)の代表選手もメンバーにいます。初戦の京産大は強敵ですが、これまでの対戦でも自分たちのラグビーができていますので自信はあります。

ナイカブラ ジョネさん(法律学科4年)

目標は関西で優勝して大学選手権に出場することです。日本代表として経験したこと、学んだスキルをチーム内で生かして頑張ります!ぜひ応援に来てください!



日程	時間	対戦カード	会場
9月30日(土)	14:00	摂南大学 VS 京都産業大学	鶴見緑地
10月 8日(日)	12:00	摂南大学 VS 近畿大学	宝が池
10月15日(日)	14:00	摂南大学 VS 天理大学	鶴見緑地
10月28日(土)	14:00	摂南大学 VS 同志社大学	宝が池
11月 4日(土)	12:00	摂南大学 VS 関西学院大学	神戸ユニバー
11月19日(日)	12:00	摂南大学 VS 立命館大学	皇子山
11月26日(日)	12:00	摂南大学 VS 関西大学	ヤンマーフィールド

**関西学生リーグ  
1部に昇格!**

主務 中村 綾美さん(経営情報学科3年)

32人中29人が大学から始めた初心者でした。経験者は3人だけです。部内は同期、上下の関係がすごくいいです。でも練習中の切り替えはしっかりやります。学年関係なく競い合い、教え合い、そして悩みがあれば相談し合う。今年5月の関西学生アーチェリーリーグ戦女子2部で優勝し、入替戦に勝利したので念願の1部に昇格しました。女子部員はリーグ戦出場での最低人数しかいなくて他のメンバーに迷惑をかけないように、

霧田気作りや体調管理にも気をつけて臨みました。1部校はレベルが桁違いですが、個々の力とチームとしての団結力を高めて取り組んでいきたいと考えています。



**アーチェリー部**

【部員数…32人(男子26・女子6)】



関西薬学生  
バスケットボール大会優勝/  
勉強との両立を大切に

副キャプテン 坂本 風香さん(看護学科3年)

雰囲気の良い、賑やかさが女バスの自慢です。先輩後輩の仲が良いことで、お互いに遠慮することなくプレーができ、個人の持っている力が最大限発揮され、それがチームとしても大きな力になっていきます。それから部活だけでなく、勉強もおろそかにしないことを大切にしています。定期試験の1カ月前から部活は休みに入り、勉強に集中できる環境になります。先輩から試験や授業、実習の対策などを聞いてそれぞれが頑張っています。今は選手の人数を増やすこと、春に続いて夏の大会でも優勝することが目標です。



バスケットボール部 枚方支部

【部員数…65人(男子31・女子34)】



男女そろって  
全国大会に出場!



剣道部

【部員数…31人(男子25・女子6)】



染川 裕介さん(法律学科3年)

稽古では厳しく、日常では仲良くというのが剣道部の特長です。そして一人ひとりの個性を大切にしています。今回個人戦で出場した全国大会で、予選とは異なるハイレベルなステージで勝ち抜く難しさを知りました。今後さらに切磋琢磨しながら団体戦での出場も目指したいです。

中井 優里花さん(外国語学科3年)

全国大会はいろんな意味で緊張しました。そんな中でも自分の長所である「粘り」の剣道はできたと思います。2回戦で敗退しましたが、よく相手を見ることができたので満足しています。来年に向けて個人の課題に取り組み、またチームの目標を立てて互いに高め合い、団体戦で男女とも全国大会に出場できるようしっかり練習していきます。

医歯薬1部リーグで  
ベストナインに選抜!  
部員大募集中です!!

森岡 修一さん(薬学科5年)

実験や実習が多く、皆が集まってから練習できる時間が限られているので、どうすれば効率よくできるかを考えながら活動しています。部員もマネージャーも仲良く、合宿や花見など年何回かのイベントも楽しくやっています。私はピッチャーで医歯薬リーグのベストナインに選ばれましたが、ほかの守備の好プレーやマネージャーのサポートのおかげで受賞できたのだと、感謝の気持ちでいっぱいです。今後はクラブとしては1部リーグで優勝、関西大会で1勝したいです。個人としては優勝に貢献して、結果としてまたベストナインが取れば嬉しいです。それから部員大募集中です!お待ちしております!



準硬式野球部 枚方支部

【部員数…40人(男子29・女子11)】

# 2017年度入学宣誓式

在学学生500人が  
 新入生歓迎のパフォーマンスを披露

## 大阪城ホール



新入生を代表して  
 青山友香さん(看護学科)が  
 力強く宣誓



歓迎のあいさつをする  
 八木学長



新入生が投稿した目標を  
 映し出した会場スクリーン



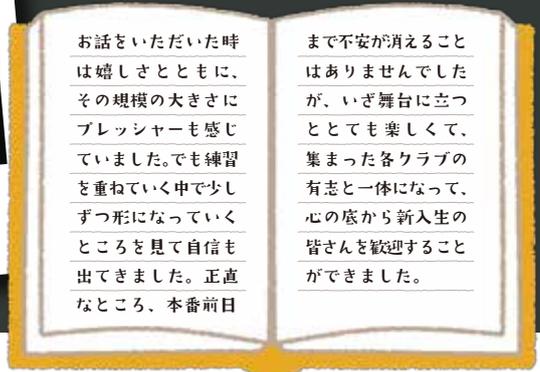
会場が一体となった  
 在学生ダンスパフォーマンス



ラグビー部の迫力ある  
 「HAKA(ハカ)」



ダンスパフォーマンスを率いた  
 塚本 翔さん  
 ダンスサークル PEP JOY CREW 部長  
 (経済学科3年)



お話をいただいた時は嬉しさとともに、その規模の大きさにプレッシャーも感じていました。でも練習を重ねていく中で少しずつ形になっていくところを見て自信も出てきました。正直なところ、本番前日

まで不安が消えることはありませんでしたが、いざ舞台上に立つととても楽しくて、集まった各クラブの有志と一体になって、心の底から新入生の皆さんを歓迎することができました。



在学生から新入生一人ひとりに  
 メッセージカードとガーベラを贈呈



喜びの記念撮影

4月5日、大阪城ホールで2017年度入学宣誓式を挙行政し、大学院生38人、学部生1952人、計1990人の新入生が本学での学生生活をスタートしました。

八木学長は「本学は『Smart and Human』をタグラインに掲げています。Smartは、人類の探求の成果である知識や科学を身につけ、それを生かすこと。Humanは、人間性ある心を持つことです。これを両立させ、専門職業人として自らの、そして社会の人々の人生や暮らしなどの質を高めることのできる人材に成長してください」とメッセージを贈りました。

今年度の入学宣誓式では、本学初の試みとして若手職員による入学宣誓式プロジェクトを立ち上げました。新入生が入学時から夢や目標を持つて、人とのつながりを大切にしながら大学生活が送れるよう願いを込めたコンテンツを企画。SNSで投稿した自身の目標が会場スクリーンに映し出される「わたし宣誓式」、映像と会場を融合した在学生のダンス、直筆メッセージ付きのガーベラの贈呈など、会場が一体となる歓迎パフォーマンスを繰り広げました。

式終了後は、会場アリーナに設置された特設ボード前で新入生らが喜びの表情で記念撮影を行いました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！



# 摂南大学の特色ある取り組み

## 交流事業

### 地域交流



### 和歌山県由良町から

### 「ゆらの助」が

### 事務職員として出向 目指せ！ゆるキャラグランプリ優勝！

2014年10月8日に摂南大学と和歌山県由良町は、和歌山県「大学のふるさと」協定を締結し、これまでも地域活性化のためのさまざまな活動を展開しています。

このたび、由良町のゆるキャラ「ゆらの助」が、本学の事務職員として由良町役場から出向してきました。7月12日には辞令交付式があり、2018年3月末までの期間、本学の研究支援・社会連携センターへ配属が命じられました。出向期間中は、オープンキャンパスや学園祭などの各種イベントに参加し、SNSなどを利用して由良町のPR活動を展開します。

実はこの取り組み、本学のPBLプロジェクト（課題解決型学習）の一つである「和歌山県由良町における地域ブランド開発プロジェクト」によるもので、「ゆらの助をゆるキャラグランプリで優勝させる大作戦」の一環として、学生が発想し実現させました。プロジェクトを通して、急速な過疎化が課題の由良町の知名度向上に貢献し、課題解決を

目指します。

本学では、このような学生たちの主体的な学修を促進し、成長を支援する教育を行っています。これから、学生とゆらの助のチャレンジがスタートします。みなさんぜひ、応援してください！

## ゆるキャラ®グランプリ2017

投票開始：2017年8月1日（火）

投票終了：2017年11月10日（金）

<http://www.yurugp.jp/>

投票にご協力をお願いします！



### 由良町のゆるキャラ「ゆらの助」

由良町の特産品「ゆら早生みかん」の妖精で、興国寺の犬神に憧れ、日々修行している「ゆらの助」。修業の場を、由良町から摂南大学 寝屋川キャンパスに移して、由良町のブランド力向上のため頑張ります。

## 国際交流

### 飛び立て世界へ

### そして世界からようこそ

夏期海外派遣プログラムと  
日本語・日本文化サマープログラムで  
国際交流を進む

年を追うごとに海外派遣や受け入れのプログラムを充実させてきた摂南大学。夏期さまざまな国際交流プログラムに多くの学生が参加して、国際的な視野を広げています。

で親流を  
会をたし  
親交を  
国際一歩  
踏み出  
合国第  
踏生



7月19日、本学学生が海外で学ぶ「夏期海外派遣プログラム」と海外の学生が本学で学ぶ「日本語・日本文化サマープログラム」の各種行事を行いました。

この夏、23人の学生（1年間の台湾交換留学1人、カナダ語学研修8人、韓国文化体験7人、タイ文化体験7人）が海外に出発するにあたり、八木学長ほか教職員が列席して結団式を行いました。八木学長は「中世にヨーロッパで大学ができた時から、学生は国境を越えて学ぶ権利を持っているし、ぜひ行使すべきだ。若いうちに多くの体験を積んで、世界の一員としてグローバルな活躍をしてほしい」と学生たちを激励しました。学生も一人ひとり決意表明を述べ、「外国の方と積極的にコミュニケーションをとり、語学だけでなく文化にも触れ、学びの成果をあげたい」と話していました。

海外の学生たちが本学で学ぶ「日本語・日本文化サマープログラム」には、12人の外国人学生（中国4人、台湾2人、韓国5人、インドネシア1人）と中国人教員1人が参加しました。外国人学生は、海外に出発する本学学生との合同懇親会においてそれぞれ立場から国際交流の第一歩を踏み出した様子で、海外留学から一時帰国中の本学学生、留学生サポーターの学生とも交わり、初夏の楽しいひとときを過ごしたようです。

## 環境保全

### Environmental Protection

【CCS】  
ゴーヤカーテン  
今年も育てます！

学内の環境改善に取り組んでいるCCS（キャンパス・クリーン・サポーター）が昨年に続いてゴーヤのグリーンカーテン作りに挑戦しています。遮光効果を検証して28℃の温度差最高値を観測し、省エネルギーの効果が実証されました。

今年は昨年よりも範囲を広げて育てており、更なる省エネルギーが期待されます。昨年収穫したゴーヤから種を採取し、春先に種を発芽させるところからスタートしました。6月中旬には、どんどこつぼみができて花が咲き、緑のカーテンにかわいい黄色の模様をつけるようになりました。7月中旬になるとネット最上部まで届き、ゴーヤも立派に育っています。

7月11日撮影



立派なゴーヤができました

# 学生生活

## 新入生ふれあいキャンプを 実施しました！

宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」で新入生ふれあいキャンプを実施しました。このキャンプは1泊2日で行う新学期恒例行事で、入学後間もない新入生が、他者との信頼関係を深め、成熟した人間関係を構築できるきっかけとなることを目的にしています。

企画から運営までのほぼ全てを文化系クラブのボランティア・スタッフズの学生が担当するという他大学ではあまり例のない行事で、学生スタッフは6カ月もの時間を費やし準備しました。

最初は緊張気味の新生たちも、さまざまな活動を通じて徐々に打ち解け合う姿が見られ、大変有意義なキャンプとなりました。



先輩も  
後輩も  
一緒に  
盛り  
上げ  
まし  
た！

戦者合  
流加集  
交参大



## 常翔学園3大学 課外活動団体交流戦

7月1日と2日、本学寝屋川キャンパス等で恒例の「常翔学園3大学体育会課外活動団体交流戦」を開催し、2日間で51団体大阪工業大学29・摂南大学16・広島国際大学6、延べ1816人が参加しました。

1日に開会式と懇親会等、2日には試合を実施しました。

懇親会では3大学の学生が交流を深めました。各大学の体育会本部長が交流戦に対する意気込みや日頃の活動報告を行い、大阪工業大学のストリートダンス部のパフォーマンスや応援団のエールで会場は大いに盛り上がりました。

交流戦では、日頃の練習の成果を発揮する激しい試合が繰り広げられました。合同練習を実施する競技もあり、3大学の団体が各々に交流を深めました。全団体が参加するエキシビジョンでは大学対抗リレーを行い、優勝した大阪工業大学にはトロフィーが授与されるなど、充実した2日間でした。

11月18日と19日には文化会の3大学交流会を控えており、体育会とは一味違った各大学文化会クラブの交流を行います。

今後とも学園3大学間の交流行事を通じて学生同士の絆を育んでいきます。

## 学園祭 いよいよ開催！

学生が主催する年に一度のビッグイベント、摂大祭（寝屋川キャンパス）、摂友祭（枚方キャンパス）が開催されます。アーティストライブなどのステージ企画をはじめ、模擬店や地域の子どもから大人まで楽しめる企画が満載です！

ご家族やご友人との来場をお待ちしております。

### 第43回摂大祭

テーマ「NEXT」  
10月7日(土)～9日(月・祝)  
in 寝屋川キャンパス



このテーマには摂大祭を通じて得られる経験を糧に、将来チャレンジしてみたいことややりたい職業に向けて、自ら積極的に一歩踏み出し、摂大祭を一つの通過点にして次に進んでほしいという思いが込められています。地域とのつながりを大切に、全来場者の方と一緒に楽しめる学園祭にしたいと思えます。

### 第6回摂友祭

テーマ「摂友6 (ROCK) FES」  
10月8日(日)  
in 枚方キャンパス



今年も摂友祭が6周年を迎えることから、「6」と「ROCK」を掛けて6周年を表しました。摂友祭全体をロックフェスの会場に見立て、摂友祭に参加してくださる方々や実行委員を出演者として捉え、来場者、学園祭スタッフも共に楽しんで躍動感のある摂友祭を作り上げ、大学と地域

の活性化を図っていくという思いが込められています。医療系大学の特徴を活かしたイベントを企画し、医療に対して驚きや発見を提供できるものにと考えています。

◆ご来場には公共交通機関をご利用ください◆

## 就職状況・活動

「就カツ」の状況 | 内定率は「高水準」に！

今年度の就職活動、いわゆる就カツは3月に説明会が解禁され、選考は6月から開始されました。選考開始時期は昨年度と変わりませんが、早期に内々定をもらう学生は増えており、9月1日現在、本学の内定率は72%。文系は66%超、理系は81%程度で、同時点比較で5ポイント高く、企業の旺盛な採用意欲を背景に高水準にあるといえます。

昨年同様、夏休み中も企業の募集・選考活動は続けられ、11月頃には80%を超える学生が就カツを終えると予想されます。

### 未内定学生の支援は？

― 行事と個別面談で強力サポート ―

就職部では、さまざまな事情から就職未内定になっている学生についても支援を続けていきますので、ご安心ください。ただ、時期的なことを考えると早々にご相談いただきたいというのが就職部の願いです。今後予定している行事は次頁のとおりで、並行して個別面談を進め、学生自身の就カツでのベストマッチングを図ります。本学に対する求人企業数は1万5千社を超えますが、仕事内容、勤務地などの希望条件が多い場合は受験企業に限られてしまいます。未内定の皆さんにはできるだけ早く対応を考えていただきたいところです。

## 本当の「就カツ」はこれから？

厚生労働省調べでは新卒の就職者の3割以上が3年以内に離職という状況が定着しています。長時間労働や職務内容の不一致など理由はさまざまです。それゆえ、「第二新卒」といった既卒採用の市場も活性化し始めました。今後は就活を「過性のこと」としてではなく「働き始める準備をする期間」と捉えましょう。就活を通じて学生の皆さんは「自分がすべきこと」も少なからず気づかれたと思います。卒業研究を中心に忙しい中ではありますが、学生生活の総仕上げにもぜひ取り組んでほしいところです。

また、来年度の就活生の皆さんにはインターシップへの参加をはじめ、「自分が準備すべきこと」をできる限り早期から考えていただきたいと思います。経済・社会環境の目まぐるしい変化が今後も予想されています。就職部ではこうした皆さんの身近にいてサポートをしていきますので、行事への参加や個別面談での来室をお待ちしています。

企業の  
内  
明  
子  
学  
合  
説  
様



## 個別説明会／7月以降

企業単独の学内説明会実施中。(一次選考を兼ねる企業もあり)

## 就活面談会／10月以降

企業と学生の立ち会い面談会。文系学生中心に実施予定。

## 個別面談／随時

就職部にて実施中。履歴書・エントリーシートの作成、求人企業紹介。どんなことでも相談を。模擬面接／随時就職部にて実施中。予約制です。

## 『実就職率ランキング』で 関西主要私立総合大学第1位！

2017年3月卒業者の『実就職率ランキング』(大学通信調べ)が発表されました。

本学は、卒業生数1000人以上の大学において実就職率91.8%で関西の主要私立総合大学の中では第1位となっています。

本学のキャリア・就職支援の特長として、1年次から始まるキャリア教育や学科の教員と就職部が連携した就職支援、寝屋川キャンパスのキャリアコンサルタント常駐などが挙げられます。こうしたきめ細やかなキャリア・就職支援体制が本学の就職率の高さにつながっています。

※実就職率(%)=就職者数÷(卒業(修了)者数-大学院進学者数)×100

## 図書館

### 枚方分館では読書ラリー

『YOMOCA(ヨモカ)』を実施しています!!

今回は図書館の数ある活動の中で、枚方分館限定で実施している読書ラリー『YOMOCA(ヨモカ)』(以下「YOMOCA」とい)を紹介しています。

枚方分館では図書館の有効活用と所蔵資料を利用して読書習慣を促進するため、2014年度後期から「YOMOCA」を実施しています。学生・教員を対象とし、今年度で4年目を迎えました。

参加登録者は2014年度66人、2015年度98人、2016年度108人

と年々増加しています。今年度は募集中ですが7月現在で79人の登録がありました。

「YOMOCA」は登録制なので自由に参加でき、登録時にポイントカードを配付します。貸出図書のリターンや図書を紹介するブックレビューなどを提出するたびにポイントが集まります。参加登録者にはそれぞれに応じたポイント分のスタンプをポイントカードの裏に押印するので、ポイントを貯める楽しみがあります。ポイントが規定数に達すると記念品と交換できたり、貸出冊数の増加などの特典もあります。「YOMOCA」により養われた能力が教育に生かされることを期待しています。

参加者からの  
ブックレビュー



## 副専攻課程配当科目 「地域と私」のご紹介

本学では2016年度から、多角的な視点で地域の状況を分析した上で課題を発見し、持続可能なまちづくりに貢献できる知的専門職業人を育成するため、「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」を設置しました。さまざまな学部・学科に所属する学生が一緒に、地域を舞台に学びます。総合大学ならではの幅広い知識・技能・態度を学修できる教育カリキュラムとなっています。

「ア科目」として、1年次前期に「地域と私」という授業を開講しています。副専攻課程の導入科目に位置付けており、地域の課題を発見し、解決策を提案したり、グループ活動

を通して相互理解を図ったり、自分の役割を理解しながら行動することを学びます。

本科目は、4月15日・16日の2日間を通じた研修プログラム「自己の探求」から始まり、履修者100人はこのプログラムを通して、今後活動していくグループを決めました。さまざまなグループワークを通して、今の自分を客観的に見つめ直すとともに、他者と協力して成果を出すことの難しさや楽しさを体感しました。

6月17日には、本学と「大学のふるさと」協定を結んでいる和歌山県由良町に出向き、フィールドワークを行いました。履修者100人は「地域経済・経営」「地域政策・文化」「地域環境・防災」「地域医療」の4つの領域に分かれ、同町の観光名所の視察や地域住民からのヒアリングを実施しました。

7月15日には総まとめとして成果発表会を実施しました。この科目を通して学んだことをグループごとにプレゼンテーションしてくれました。「人にはさまざまな価値観があり、たくさんの意見を聴くことで新たな発見をすることができた」「仲間と協力し、物事を成し遂げることで達成感を得られた」など、学生はたくさん気づきを得たようです。

グループの  
発表の様子



ソーシャル・イノベーション副専攻課程についてはWebサイトもご覧ください。

[http://www.setsunan.ac.jp/social\\_innovation/](http://www.setsunan.ac.jp/social_innovation/)



# 法学部

法学部生による  
法学部生のための  
「ゼミ選択相談会」を実施



法学部のゼミは、2年次後期から開講される「専門演習Ⅰ」を機に、3年次の「専門演習Ⅱ」、4年次の「卒業研究」に至るまで原則として同じ教員が担当し、個性と持ち味を活かした少人数教育・研究指導を進めます。必修科目であるゼミは、単に専門性を養うだけではなく、そこに集う学生同士の交流・活動を通じてチームワークを育み、自ら主体的に学ぶ意欲や態度を養う場でもあり、その成果を大学生活のいろんな場で発揮しています。

6月15日と22日、法学部生による法学部生のための「ゼミ選択相談会」をスカイラウンジで実施しました。初めての企画にもかかわらず半数以上のゼミから相談ブース出展の賛同があり、両日にわたり延べ約270人が参加しました。上級生らは



活気にあふれる  
相談会場

2年次後期からのゼミ選択を考える後輩学生らに対し、所属ゼミの活動内容を熱心に紹介し、会場は活気にあふれていました。

法学部企画運営委員が  
オープンキャンパスに協力

法学部には学生自らの発案で活動している「法学部企画運営委員会」という組織があり、現在約40人が所属しています。新入生のためのサポートウィークとして履修相談に応じたり、大阪府警、大阪地方検察庁への見学ツアー、七夕まつり、卒業パーティーなどを毎年企画しています。6月から9月に行われたオープンキャンパスでは、延べ31人の委員が学生広報スタッフとして協力し、「まなびコーナー」に訪れる受験生らに、在学生の視点から大学生活などをアドバイスしました。



オープンキャンパスで  
各種相談に対応



七夕まつりコンテスト  
表彰式で

# 外国語学部



英語プロフェッショナルコースから  
ドイツ二へ

厳しい選考を突破し、  
ディスニープログラムに  
参加する2人



深めながら、ドイツ  
ニーワールドで世界  
最高といわれるホス  
ピタリティーの精神  
を直に学びます。

日本語パートナーズに  
新たに3人合格

本学と国際交流基金アジアセンターとの連携協定による「日本語パートナーズ」のインドネシア第8期合格者が決まりました。今回派遣されるのは、楠本礼奈さん、本田南帆さん(字内推薦)、西田健吾さん(一般応募)の3人です。3人は2017年8月に国際交流基金関西センターで約1カ月の事前研修に臨み、9月から2018年3月までそれぞれの派遣先で活躍します。



新たに合格した3人

留学帰国者報告会を開催

5月16日に英語専攻の21人、5月29日にインドネシア・マレー語専攻の4人、6月13日にスペイン語専攻の5人の学生による留学帰国者報告会を開催しました。下級生や同級生を前に、留学生活での苦労や思い出勉強の成果について、専攻言語を交えながら発表しました。



各国語圏の  
学生報告会  
の様子



各人各様の体験をし、それぞれに成長した姿を見せてくれました。彼らが留学で手にしてきた貴重な「もの」を、今後どう温めてさらに成長していくのか楽しみます。

学生参加のイベント

- 英国から俳優・演出家のベン・クリスタル氏を迎え、英語でドラマワークショップを開催しました。(4月27日)
- 英国からパペット制作者・パペット使いのヘレン・フォーン氏を迎え、英語で講演会を開催しました。(4月27日)
- 中国語専攻の1年次生が中国と縁の深い場所が集まる神戸の見学会を実施しました。(6月18日)
- 日本語教育を学ぶ学生と、外国人留学生との交流会「ニコバーティー」を開催しました。(6月21日)
- 英国から児童学者、クイーンコチのジェフリー・リジー博士を迎え、英語による児童セミナーを開催しました。(7月1日)



港町神戸の中華街にて

# 経済学部

撰南経済  
ゲストレクチャーを開設  
―外国の大使や企業トップ等  
多彩なゲストを招く―

実地に近い教育を行うという経済学部のコンセプトを具現化した授業のひとつに「撰南経済ゲストレクチャー」があります。社会の各方面で活躍される方々をゲスト講師として迎え、授業担当・後藤教授のガイドのもと、学生には生きた経済の現実や課題等に触れる機会となっています。

今年度は6人のゲストをお招きし、豊富な経験と具体的な素材に基づいて国際、地域、観光経済のトピックに関連したテーマで講演いただきました。

ゲスト／熊本県大阪事務所職員、駐日アイルランド大使、千島土地㈱社長、横浜市芸術文化振興財団常務理事、京都市文化芸術政策監、ロムンアター京都館長、関西西大環境都市工学部教授



熊本県営業部長兼  
しあわせ部長  
「くまモン」も登場

「日本はアジアにおける重要なパートナー」と語る  
アン・パリンソン駐日  
アイルランド大使



オーストラリア研修



上海研修

## 上海、オーストラリアへの 海外研修を実施

夏期休業中に上海とオーストラリアへの海外短期研修（国際経済実践演習授業）を実施しました。上海研修（7日間）は、資生堂や森ビルなどの現地企業を視察し、日本人スタッフから中国におけるビジネスについてヒアリングし、グローバル人材像について学びました。また、中国人学生とチームを組み、ユニクロ等でのフィールドワークから、日中の接客サービスや価値観の違いについてディスカッションしました。豪州研修（16日間）は、ニューイングランド大学で英語授業を受けるとともに、日系企業および和牛農家訪問により国際貿易の現実に触れ、経済学部生として必要な知識・英語力の向上を図りました。

海外研修に参加した学生は、異国での交流を通じて、これからの国際社会に必要な素養をあらためて認識することができました。

# 経営学部

「カレーに乗せてはいけない福神漬け」の  
販売活動を行いました

5月18〜23日に東京・高島屋新宿店で開催された「第10回大学は美味しい!!」フェアに初出店し、経営情報学科の学生が考案した「カレーに乗せてはいけない福神漬け」（寝屋川市主催、2014年度ワガヤネヤガワベンチャービジネスコンテスト・グランプリ受賞）を販売しました。同フェアは、教員と学生たちが開発に携わった「大学発」のおいしい食品を紹介する高島屋新宿店人気の催しで、10回目を迎えた今年は、全国から36の大学が参加しました。各大学の斬新なアイデアが来店客の関心を引き、会場は学生の熱意とあいまって連日盛況。本学は開催中の6日間で福神漬け600パック販売を目標にしたところ、780パックを売り上げました。フェアの様子はテレビニュースでも紹介され、学生の販売シーンや商品のアップが映し出されました。

今回のブース出店は、会場レイアウトの設定やポスター、商品POPなどの各種販促物の作成、会計管理などもすべて学生が行い、「自ら課題を発見し、主体的に解決に取り組む」というPBL（Problem Based Learning: 課題解決型学習）としての側面も持ち合わせています。目標を大きく上回る販売結果を受け、指導教員の久保貞也准教授は



高島屋新宿店「第10回大学は美味しい!!」フェア

「大学発の商品への関心が高く、本学で作られている他の商品にもビジネスチャンスがありそうだ」と話し、来年度の参加に期待を寄せました。参加した学生も、「今回の経験を次の販売機会に生かしたい。来年も同じ企画があれば、ぜひチャレンジとリベンジをしたい」と意気込んでいます。

一方、5月21日に神戸市で開催された「第47回神戸まつり」の「おっ！サン商店街」にもブース出店し、こちらは催事の終了を待たず、16時には販売予定の200パックを完売。学生らは「多くの方が、商品のコンセプトや商品化までの取り組みについて関心を持って質問してくださったことが印象に残った。今回学んだことを生かして、今後の大学の地域貢献活動を盛り上げていきたい」と話しています。



第47回神戸まつり

## カレーに乗せてはいけない福神漬け

### 国産の野菜を使用したしょう油味

地域産業の振興につながる商品や技術を公募する寝屋川市主催のビジネスコンテストでグランプリを受賞。福神漬けといえばカレーというイメージを破り、白いご飯やお酒にも合うというコンセプトで新規市場開拓と地域農業の活性化を目指した商品。

福大祭で販売します!  
(10/7(土)〜9(月・祝))  
価格:350円(130g)/  
150パック限定

# 理工学部

## 生命科学科

「理科教員養成支援プログラム」を設置  
学生の夢をサポート

生命科学科は、中学校・高等学校の理科教員の免許（種）を取得できる理工学部で唯一の学科であり、2014年3月に初めて卒業生を送り出してから、これまでに10人の中学校教諭を輩出してきました。本学科の特色のひとつではありますが、通常授業に加えて教職関連の講義を履修しなければならず、入学時には数多い教職志願者は年次進行に伴って減少する傾向が見られます。そこで本学科では、彼らの夢をサポートするために、2017年度から「理科教員養成支援プログラム」を設置しました。7月17日には、1年次生13人と大学院生（教職免許取得者4人との初めての懇談会を実施しました。小グループ単位で大学院生と自由に話し合い、今後の進路や勉強方法などのアドバイスを熱心に耳を傾けました。今後は、教員と学生に現職教諭（卒業生）を加えて、教員採用選考テストの対策やさまざまな問題を気軽に相談できる場として大いに発展させていきたいと考えています。



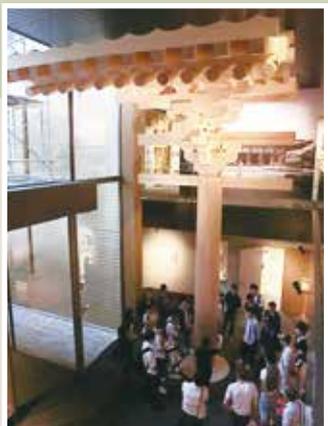
1年次生と大学院生が自由に話し合った懇談会

## 建築学科

「建築ゼミⅠ・Ⅱ」での体験学習  
——竹中大工道具館、天王寺動物園を見学して——

建築学科の建築ゼミナールは、1年から4年までの間、連続性を保ちながら、専門性がスパイラルアップする少人数ゼミです。1年次生の「建築ゼミⅠ」は、入学後すぐに始まる建築へのキックオフであり、さまざまなグループワークを通して建築の面白さを体験します。2年次生の「建築ゼミⅡ」は、専門分野に即した5つの課題に取り組み、最終課題では設定したキーワードから建築の言説を読み解き、チームで動画を作成し成果発表します。「建築ゼミⅡ」ではこれらの課題に加え、全員で建築見学にも出かけます。見学の目的は美しい建築空間を実際に体験すること、もうひとつは意識して空間を観ること、つまり観察眼を養うことです。

今年の1年次生は6月3日、竹中大工道具館（神戸市）に行きました。竹中大工道具館は日本で唯一の大工道具に関する博物館で、学生たちは大工道具の歴史、広がり、道具を使いこなす職人の知恵を学び、ものづくりの豊かさに触れました。圧巻は法隆寺と茶室の原寸大模型で、学生たちは興味津々。



竹中大工道具館で説明を聴く学生たち

木の組み方や材料に関する質問が飛び交いました。実は見学のメインは展示だけでなく、竹中大工道具館という極上の建築を体験することにありました。当初、初めての建築見学に学生たちは戸惑っていました。教員がアドバイスをすると、漆喰の壁に触れ、階段や天井のデザインを観察し、写真を撮る姿がみられました。

2年次生は5月20日、天王寺動物園に見学に行きました。「えっ？動物園？」と思われるかもしれませんが、天王寺は今、あべのハルカスから通天閣の一角がドラステックに変化するホットスポットです。その中心にある動物園を建築・まちづくりの眼で観ることは得難い経験と考えて企画しました。朝から暑い日でしたが、学生たちは園内を歩き、園舎のデザイン、ランドスケープ、サイン計画、動物の暮らす空間などを観察しました。気になるところはスケッチや写真撮影をし、あらためて動物園という空間に多くの気づきがあったようです。見学を終えると学生たちは自主的に通天閣にも足を延ばし、「二度漬け禁止」の串カツも含めて大阪を代表する都市空間を体験しました。このような1、2年次生の早い段階での建築見学は、学生の「眼」と「芽」を育む大事な活動であり、関心が広がることを期待しています。



天王寺動物園で学生が描いた「動物の顔」(左)、「サイン」(右)のスケッチ

## 機械工学科・電気電子工学科

大学院研究室のリニューアル  
研究・教育環境を大きく改善

機械工学科と電気電子工学科が共同で利用している「大学院研究室」をこの4月にリニューアルしました。この大学院研究室は予約制で利用でき、大学院の研究活動や講義に使用されるだけでなく、各学科のゼミやプレゼンなどにも利用されてきました。今回のリニューアルで新しく電子黒板や大型ディスプレイなどを導入し、より発表や議論がしやすい環境を整えることができました。また、本学にはさまざまなものづくりを行えるテクノセンターがありますが、比較的簡単な電子工作等を気軽に行える共有スペースが欲しいという要望がありました。そこで今回、大学院研究室の半分は電子工作などを行える新しいエレクトロニックワークショップとしてリニューアルしました。ここでは電子部品を取り揃えているだけでなく、その場で回路シミュレータやプログラミングソフトを用いてマイコンへの書き込みなどができるように、専用ソフトをインストールしたパソコンを20台導入しています。これらの設備を利用して、すでに前期に授業が開講されました。

講義や研究活動以外でも、クラブの活動場所として提供されていたり、企業による説明会が開催されたりもしています。今後も幅広い用途での利用が計画されており、今回のリニューアルは研究・教育環境を大きく改善する結果となりました。



ゼミで利用



マイコンへの書き込み

# 薬学部



受賞者続出！  
学会発表で頑張る学生たち

薬学部の人材養成に関する目標は「高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成すること」です。その目標を達成するには、自己研鑽に励み、授業・実習等における知識・技能・態度を高め、地域貢献等に努めることが必要不可欠です。



## 学会賞受賞者一覧

- 日本薬学会第137年会「学生優秀発表者賞」受賞  
村野晃一さん(大学院薬学研究科4年)、  
幡川祐資さん(大学院薬学研究科2年)、  
藤井俊成さん(学部6年)
- 第106回日本病理学会総会「発表優秀賞」受賞  
金原慎太郎さん(学部6年)、森尾剛さん(学部6年)

医師・薬剤師らを招いて  
特別講演を実施

現場で活躍する医師や薬剤師などを外部講師として招き、特別講演を実施しました。薬学部では、医療現場の現状などについて学生の理解と知識を深めるため、授業の一環として実施しています。

1年次開講科目「薬剤師になるために」では、近畿厚生局麻薬取締部調査総務課長から「薬物乱用防止について」、NPO法人理事から「薬害エイズについて」のテーマで講演いただいたほか、看護学部と合同で「緩和ケアについて」、「在宅・医療・チーム連携について」などをテーマに、薬剤師としての使命や倫理観を学びました。



薬剤師になるために(1年次) 講演会場  
「薬害エイズについて」  
外部講師：花井 十伍 氏  
(NPO 法人 ネットワーク<医療と人権> 理事)

2年次開講科目「キャリア形成」では、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ワグチン等審査部長から「行政機関で活躍する薬剤師・行政機関で働く薬剤師のキャリアパス」、5年次開講科目「アドバンスト臨床薬学」では、現場で活躍する医師や医科大学の教員から最新医療の現状と今後の展望等について講演いただきました。

これらを受講し、常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できる人材となるために必要な心構えを身につけていきます。

# 看護学部



3期生  
国家試験全員合格を目指して

3期生である4年次生は臨地実習も終盤を迎え、いよいよ本格的に国家試験に向けた学習を始めます。看護学部として定期的な模擬試験や解説セミナーなどをプログラムし、知識の定着や苦手分野の克服などの対策を行います。またゼミ教員を中心に担当学生の状況をフォローし、生活状況や気持ちの状態にも目を向けてバックアップしています。学生の国家試験対策委員も、国家試験に向けた学年全体の雰囲気作りや士気を高める取り組みを始めてくれています。

本学看護学部は1期生、2期生ともに「国家試験全員合格」を達成してきました。2年連続全員合格を達成した看護学部は、全国で15校、大阪府では本校を含めてわずか2校であり、全員が合格することの難しさを実感します。3期生も全員合格できるよう、学部として支援し、また互いに励まし合って乗り越える準備を行っています。看護師国家試験問題の難易度は年々上がっていますが、これまでの課題を乗り越えた3期生です。その力を発揮できるものと信じてサポートしたいと思います。

災害看護への取り組み

7月1日、枚方キャンパスで防災訓練を実施し、教職員と共に看護学部4年次生73人が訓練に参加しました。学生は、主に被災した傷病者と救護者の二手に分かれて被災時の訓練を行いました。



救護所窓口



疾病者への手当てを实践

救護者側の学生は、傷病者役の学生から情報収集を行い、傷病者の症状によって部屋を振り分ける窓口と、外傷や病状の急変が予測される対象者への救護、妊婦への救護、高齢者および感染症者への救護の4ブースに分かれ、救護を実践しました。学生たちはこれまで病院などで実習を行ってきたが、多数の傷病者への対応を行わなければならない場面は経験したことがありません。最初は手を出すことができません、教員が傷病者の対応をする場面を見ている状況でしたが、時間が経つにつれ、教員の指示を受けながら、十分な医療器材がない中、傷病者役の学生の訴えを聞き、収集したバイタルサイン(※1)から傷病者の心身の状態をアセスメント(※2)し、手当てを行っていききました。また不安を抱える傷病者に対して、どのように状況や処置について説明を行うべきかを考える機会となりました。

傷病者役の学生も、教員から指示を受けて対処方法を学んでいる救護者側の学生の実践を間近で体験し、貴重な時間を過ごしました。

※1 バイタルサイン(脈拍数・呼吸数・血圧・体温など)  
※2 アセスメント(刻々と変化する対象者の状態について、対象者の主観的な訴えと客観的なデータをともに看護の視点から問題点を論理的に分析すること)

## 情報教育支援

### 研修室をリニューアルしました (寝屋川キャンパス)

パソコン自習スペースとして開放している10号館4階の研修室をリニューアルしました。グループディスカッションがしやすいようにレイアウトや什器を一新し、可動式のホワイトボードを設置しています。また、20台のパソコンには、ヘッドセットを取り付け、ATRCALLやSkypeなどを用いて語学学習が行える環境を整備しました。さらに電源やWiFi、有線LANも完備していますのでノートパソコンやタブレットを持ち込んで作業することも可能です。ゼミやPBなどでグループワークを行う際や、友達と相談しながら課題を進めたい時などに研修室を活用してください。



開室時間(授業期間中)  
月～金曜日9:00～20:00  
土曜日 9:00～16:30

### 新着ニュース

タッチ操作でニュースの詳細を表示することができます。



### メインコンテンツ

開室・空席状況等を表示しています。

### メニューボタン

タッチ操作によりメインコンテンツを切替可能です。

### デジタルサイネージを導入しました (枚方キャンパス)

寝屋川キャンパスで試験稼働していたデジタルサイネージを枚方キャンパスにも導入しました。現在は1号館1階と5号館1階に設置しています。タッチパネルを搭載しており、見たい情報のメニューボタンをタップすれば、すぐにそのコンテンツが再生される仕組みです。

情報処理演習室の自習利用可否状態や空席状況の照会、学内イベントの周知、大学関連動画の再生の他、天気予報やバスの時刻表などを掲載しています。

今後も機能追加や設置場所の追加などを行っていく予定です。要望等あれば情報メディアセンターまでご意見をお寄せください。

### 小・中・高校生のためのプログラム 「ひらめき☆ときめきサイエンス」

「よつこそ大学の研究室へ」を開催!



「ひらめき☆ときめきサイエンス」とは、大学や研究機関などで科学研究費助成事業(科研費)により行われている最先端の研究成果に、小・中・高校生の皆さんが、「直に見る・聞く・触れる」ことで、科学の面白さを感じてもらおうプログラムです。

このたび、8月1日に本学のスポーツ振興センター・藤林真美准教授が「筋肉を動かすとどれくらいエネルギーを使うのだろうか?」カラダの中をのぞいてみよう」というテーマで研究内容を紹介し、神経や筋肉の仕組みについて参加した高校生たちに体験しながら学んでもらいました。

当日は、日本学術振興会の担当者も来学され「科研費」という日頃聞きなれない研究制度について分かりやすくご説明いただきました。また、藤林准教授による

講演では、参加者からの活発な質疑が飛び交い、会場は活気にあふれた雰囲気となりました。

## 研究支援

講演の後は、いよいよ実験の体験です。

筋肉への電気刺激は自分の意志とは関係なく筋肉が動くため、参加者は最初「びっくりしたー!」と驚いていましたが、日頃体験することができない実験の内容に興味津々の様子でした。

参加者は「興味があつて参加しましたが、それ以上のことを学ぶことができました」と満足した様子でした。



藤林准教授による講義



筋肉への電気刺激実験の様子

本イベントの様子は後日、日本学術振興会HPにも掲載されます。

URL: <http://www.jsps.go.jp/>



## 入試インフォメーション

### 看護学部で「国語」が選択可能に

看護学部の公募制推薦入試A日程・B日程、一般入試前期B日程、後期日程の選択科目に「国語」を追加しました。



### 特別奨学金制度

「一般入試前期A日程」「大学入試センター試験利用入試前期」の入試成績優秀者を「特別奨学生」として認定します。一般入試前期A日程は1年次の年間授業料と教育充実費の半額相当額を、大学入試センター試験利用入試前期は1年次の年間授業料と教育充実費の全額相当額を入学初年度に限り奨学金として給付します。

### 英語資格等保持者優遇制度

公募制推薦入試A・B日程(法学部・外国語学部・経済学部・経営学部)、大学入試センター試験利用入試前期・中期・後期(全学部)に「英語資格等保持者優遇制度(みなし得点制度)」を設けています。実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL、GTECなどの合格または取得スコアを、英語適性検査あるいは大学入試センター試験「英語(リスニングを含む)」の得点にみなして換算する制度です。

### 入試日程表 ※AC・BC日程は「センター試験プラス方式」

入試区分		募集学部	試験日	出願期間	合否発表日
公募制推薦入試	A日程	法学部	11月4日(土)	10月10日(火)～10月25日(水)	11月14日(火)
		外国語学部			
		経済学部			
		経営学部			
		理工学部 住環境デザイン学科のみ [文系型]			
	全学部	11月5日(日)			
B日程	全学部	11月26日(日)	11月1日(水)～11月18日(土)	12月7日(木)	
一般入試	前期A日程・AC日程※	全学部	1月22日(月)	1月1日(月)～1月13日(土)	2月7日(水)
			1月23日(火)		
	前期B日程・BC日程※	法学部	2月9日(金)	1月1日(月)～1月30日(火)	2月21日(水)
		外国語学部			
		経済学部			
		経営学部			
理工学部 住環境デザイン学科のみ [文系型]					
全学部	2月10日(土)				
後期日程	全学部	3月5日(月)	2月11日(日)～2月26日(月)	3月18日(日)	
大学入試センター試験利用入試	前期	全学部	本学個別学力試験は課しません	1月1日(月)～1月13日(土)	2月7日(水)
	中期			1月1日(月)～1月30日(火)	2月21日(水)
	後期			2月11日(日)～2月26日(月)	3月18日(日)

【お問い合わせ先】 入試部(寝屋川キャンパス) TEL:072-839-9104

### 看護学部 保健師課程を開設!

(定員10人・選択制)



このたび看護学部は、文部科学大臣から保健師課程の認定を受けました。従来の看護師国家試験受験資格に加え、2018年度入学生からは新たに保健師国家試験受験資格も目指すことができます。

保健師は、地域で生活している人々の健康増進や病気の予防、健康の回復を支援する仕事をしています。保健師になるためには、看護師資格を取得(取得見込み)し、かつ保健師に必要な分野の科目を学び、国家試験に合格する必要があります。

後援会長 挨拶  
後援会 会長 神田 耕吉



保護者の皆さまには、日頃より摂南大学後援会の活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

私は、本年度より、後援会会長に選任されました。神田 耕吉と申します。

後援会は、大学と家庭との連携を密にし、より良い教育環境の提供を目指し、5つの事業に取り組んでいます。中でも重点的に取り組んでおります教育懇談会については、ご子女の様子を担当の先生から直接聞くことのできる貴重な機会です。この機会にぜひともご出席いただき、日々の不安を解消いただくとともに、参加者同士の情報交換の場としてもご利用いただければと思います。就職状況についても大学の就職担当職員がご相談をお受けしますので、ぜひご利用ください。

保護者の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただくとともに、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。

2017年度 事業計画

- [1] 大学と家庭の連絡提携  
キャンパスガイド・摂大キャンパス・成績表の送付 ほか
- [2] 教育懇談会の実施  
春期・秋期2回開催(秋は学外でも実施)
- [3] 教育に対する援助  
研究発表・ゼミ旅行・資格試験援助 ほか
- [4] 学生の課外活動に対する援助  
課外活動に対する援助・大学祭開催に伴う援助 ほか
- [5] 就職活動に対する援助  
保護者向け就職支援冊子作成援助・就カツセミナー開催費用援助 ほか

2017年度  
後援会総会を開催しました

2017年度後援会総会を5月27日(土)、寝屋川キャンパス1243教室で開催しました。開催に先立ち、若松覚美前会長の挨拶の後、議長に牛島弥江前副会長が選出されました。2017年度事業計画および予算の件について議案の審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

2017年度  
春期教育懇談会を  
開催しました

ご家庭と大学をつなぐ連携の一つとして、教育懇談会では、教員との個別懇談等の機会を設けております。

2017年度春期教育懇談会を6月10日(土)に開催しました。寝屋川校地・枚方校地合わせて553組719名の方にご参加いただきました。一部ではございますが、参加された皆さまからのご意見・ご感想を掲載させていただきます。

【2017年度 新三役】  
(※敬称略)

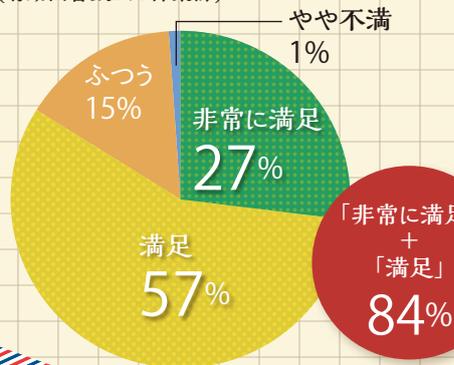
会 長	神田 耕吉(薬学部)
副会長	大賀 洋子(外国語学部)
	河村 彰則(理工学部)
	加賀 久美子(法学部)
	十河 欣也(理工学部)
	平井 良治(経営学部)
監 事	瀬戸 優子(経済学部)
	中見 江美子(看護学部)

2017年度の三役は、左記のとおり選出されたほか、新たに18名の新役員候補者が承認され、計75名の新運営体制が整いました。

毎年  
多くの保護者の皆さまに  
参加いただき、  
お喜びの声をいただいています!

## 参加者個別懇談の内容について 2017年度春期教育懇談会アンケート結果

(有効回答数215件集計)



就職講演の様子

参加いただいた  
皆さまからの声

- 親身に話を聞いてくださった。大学生活をきちんと送っていると安心しました。(理工学部)
- 親の希望ではない大学に進学しましたが、初めて参加してこの大学の良さを発見できて良かったです。(理工学部)
- 充実した内容でしたので、次回も参加したいと思います。(外国語学部)
- ゼミの先生に大学での様子をお聞きすることができ、安心できました。また、学内を見たり、学食で食事したりでき、子どもとの共通の話題が増えそうです。また参加したいです。(経営学部)

### 【2017年度 開催スケジュール】

日程	会場
10/ 7(土)	本学【寝屋川】
10/21(土)	本学【枚方】
10/14(土)	高松・下関
10/28(土)	岡山
11/11(土)	京都
11/12(日)	福井
11/18(土)	奈良・米子
11/19(日)	難波

秋期教育懇談会は、本学(寝屋川・枚方)会場に加え、学外8会場で開催いたします。詳細については、8月に送付いたしました案内状、または本学ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。



個別懇談の様子(昨年度)

2017年度  
秋期教育懇談会  
のご案内

● 子どもが大学生になっても親が学校に来られる機会を作ってください。有難いと思つています。学校と親が一緒になって成長を見守っていただけると感じます。(薬学部)

## 家計が急変し、学費の支払いに困った場合は

### 奨学金・教育ローン・学費減免・アルバイト等のご案内

区分	名称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構奨学金(JASSO)の緊急/応急採用	必要
	②貸与金額の増額(すでにJASSO奨学生の場合)	
	③地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	①国の教育ローン 日本政策金融公庫	必要
	②本学との提携ローン 学費サポートプラン(オリエントコーポレーション) 悠裕プラン(ジャックス)	
学費減免	学費減免制度(※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO支援金(自然災害等により住居に被害を受けた場合)	不要

不慮の事故や災害等により家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内いたします。

●申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。また、募集案内や説明会等、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせしますので、情報を見落とさないようにしてください。

#### アルバイトのご案内

パソコンや携帯電話からいつでもどこでも安心な求人情報が入手できるサービスを提供していますので、有効に活用してください。

●利用にあたっては、(株)ナジックへのアルバイト登録が必要です。登録希望の方は、本学のHP⇒学生生活⇒「学生マンション・アルバイトについて」から手続きしてください。

◀ 本学HP 後援会ページ: <http://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html> ▶

# in 京セラドーム大阪

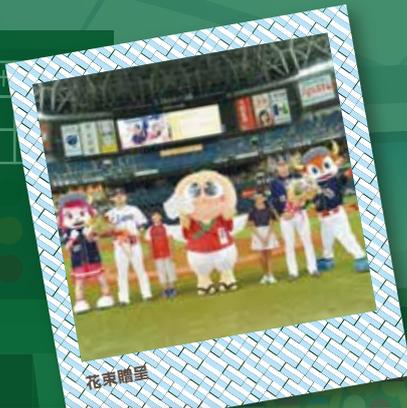
## 「All 摂南大学 Day」を開催

9/3  
sun

9月3日、京セラドーム大阪(大阪市西区)でホームカミングディ「All 摂南大学 Day」を開催しました。同日の本学協賛試合「オリックス・バファローズ 対 埼玉西武ライオンズ」戦には卒業生や在学生ら約1000人の摂南ファミリーが集って野球観戦を楽しみ、試合後はドーム最上階のスカイホールに会場を移して、卒業生やその家族、教職員による交流会で親交を深めました。

### オープニングイベント

オープニングでは、摂南ファミリーが会場を盛り上げます。まず子どもたちから両球団選手への花束贈呈があり、続いて常翔学園中学・高校合唱部が美しい歌声で国歌を斉唱しました。さらに元気いっぱいグラウンドに登場したスタメンキッズは、選手からサインボールをプレゼントされ感激です。始球式には、女優として活躍する小谷早弥花さんが登板し、見事な投球で場内を沸かせました。和歌山県由良町から本学に出向中のゆらの助もグラウンドを走って踊って体を張ったPR活動を展開しました。



花束贈呈

場内放送Bsラジオで大学紹介をする芳倉咲実さん(経済学科2年)

家族で参加の水本繁さん(2001年経営情報学科卒) 長男・慶くんはボールボーイ、次男・翔くんは花束贈呈の大使を務めました



国歌斉唱



スタメンキッズ



ボールボーイ



始球式

大学時代の思い出として「美味しかった食堂」と挙げてくれた小谷さん。学食で友達と多くの時間を過ごしたそうです。授業では、世の中の規律である法律を同世代と前のめりで学び、頭と心はフル稼働。忙しくも笑いが絶えない日々だったと振り返りました。ゼミ担当の小山教授には「今の職業を選んだ私を後押ししてくれ、厚くサポートして下さった。世の中にはこんな先生もいるんだ」と感謝とともに驚いたことは今でも忘れません」と語り、「たくさんの青く賑やかな思い出に感謝の気持ちを込めて投げさせていただきます」と始球式への意気込みを話してくれました。



### 始球式後の小谷さんのコメント...

始球式のお話をいただき、人生は本当に何が起ころか分からないという希望とともに、肩の弱い私が連立ノーパン投球に成功したことを嬉しく思っています。年に一度、卒業生や在学生が集うこの行事はとても素晴らしいですね。交流会では八木学長をはじめ、多数のOB、OGの方ともご挨拶させていただきましたが、皆さんの人柄がとても温かく、摂南大学のカラーを感じました。自分自身、恵まれた環境にいたことをあらためて思う一日となりました。たくさんの方に支えられて大学を卒業し、始球式まで務めさせていただいたので、次は私が摂南大学に恩返しができる人物になろうと強く思いました☆

### 小谷 早弥花さん プロフィール

大阪府出身。2007年、法律学科卒業。在学中にスカウトされ卒業後上京。映画、テレビドラマ、CM、舞台などに多数出演。

始球式を務めた小谷さん



恩師の小山昇教授と再会し喜びの記念撮影

### 経済学部授業「キャリア特別講義」オリックス・バファローズに

### 学ぶ経済学

本学とオリックス・バファローズ(オリックス野球クラブ(株))は、大学の持つ知的資源を地域貢献に結びつける取り組みを促進したいという思いと、地域密着、ファン目線重視という球団の思いが一致したことにより、2011年3月「教育

# ホームカミングディ

PBL「和歌山県由良町における  
地域ブランド開発プロジェクト」  
活動を展開

〜由良町からは援手  
産品のプロセッサ〜

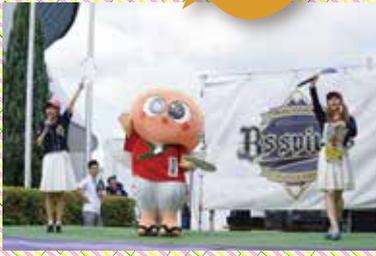
摂南ファミリーのチケット受付となった  
ドーム3階中央ブラザ「摂南大学特設  
受付テント」には、由良町職員が応援に  
駆け付け、ゆるキャラコンテストでの  
優勝を目指す同町の観光PRキャラ  
クター「ゆらの助」への投票を呼び掛ける  
とともに、みかんや干物などの由良産品  
が当たる抽選会を実施しました。

場外ステージから  
グラウンドへとPRに  
張り切るゆらの助

ステージ企画の  
シナリオは  
PBL学生が作成



由良産品が  
当たる  
抽選会



試合後の校友交流会



試合前のグラウンドで  
キャッチボール



球場コンコースには大学開学から現在に至る  
歴史パネルを展示し、試合前には選手との写真  
撮影会やサイン会、グラウンドでの選手の練習  
見学やキャッチボールなど、摂南ファミリー限定の  
イベントを多数行いました。さらに今年は、本学  
公式フェイスブックに「A-1 摂南大学 Day  
サブライス企画として、オリックス・パファローズ  
のT-岡田選手からのメッセージ動画を公開  
し、たくさんの方にご覧いただきました。（公開  
は今シーズン終了まで）

摂南ファミリーのための企画が  
盛りだくさん  
フェイスブックに  
当日サブライス企画

直筆サインボールを  
プレゼントする特別  
特典も付けました。  
当日は見事ホーム  
ランが出て、大当  
たりチケットとな  
りました。



経済学部生が企画したチケットに関する  
アンケート調査を実施

【写真協力©ORIX Buffaloes】

学校のさまざまな取り組みにサポートをお願いします！



# サポーターズ募金



世のため、人のため、地域のための学園であり続けるために —「志」をかたちに—

摂南大学では、学校のさまざまな取り組みを後押しする「サポーターズ募金」を行っております。  
金額の多寡に関わらず、継続的なご支援を賜りますようお願いいたします。

## 募金の種類

### 1 経済的に困窮する在学生にご支援を

#### ●奨学基金募金

寄付金を基金として、運用果実を奨学金として支給します。

### 2 大学が進める教育研究活動にご支援を

#### ●学校支援募金

教育研究活動等に係る経費に充当します。  
具体的な用途の指定はできません。

### 3 さまざまなプロジェクトの目標達成のためにご支援を

#### ●プロジェクト支援募金

##### (1) 摂南大学学生支援プロジェクト

- Project 1 地域創生支援プロジェクト
- Project 2 地域の総合活性化プロジェクト
- Project 3 子供たちに美しい淀川を残そうプロジェクト
- Project 4 寝屋川市における国際交流推進プロジェクト
- Project 5 こども株式会社設立と経営の学び支援プロジェクト

##### (2) Smart Campus 整備プロジェクト

- Project 1 寝屋川キャンパス拡張・整備プロジェクト
- Project 2 学内緑化プロジェクト

##### (3) 災害時医療支援力を高める地域創生プロジェクト

病院・薬局薬剤師研修を通じて自分たちのまちを守るプロジェクト

### 4 課外活動にご支援を

#### ●課外活動支援募金

特定の団体に支援できます。



## 募金の方法

一括でご支援いただく方法と毎月定額をご支援いただく方法があります。常翔学園募金ホームページからお申し込みが可能です。銀行振込（郵便振替）、クレジットカード、コンビニエンスストアでのお手続きが可能です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

## サポートメンバー制度

一定の条件を満たした方は、サポートメンバーとさせていただきます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

## 税制上の優遇措置

税額控除または所得控除を受けることができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

## サポーターズ募金ホームページ

<http://kifu.josho.ac.jp/>

## お問い合わせ先

学校法人常翔学園 社会連携機構 事業担当  
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1  
TEL.06-6954-4789 FAX.06-6954-4876  
E-mail : Jigyo@josho.ac.jp

詳しくは

## さやけき

### 「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき 摂南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

## 表紙の人

染川裕介さん(左)、中井優里花さん(右)  
剣道部から男女そろって全国大会個人戦出場を果たした2人です。  
中井さんは第51回全日本女子学生剣道選手権大会(7月22日)、染川さんは第65回全日本学生剣道選手権大会(7月23日)に出場。  
(本誌P.5でも紹介しています)

